

要点の整理

1 歴史的かなづかい

歴史的かなづかい(旧かなづかい、古典かなづかい、ともいう)は、読むとおりに書くことで、現代かなづかいに直すことができます。

- ① 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」 ↓ 「わ・い・う・え・お」  
**例** あはれ ↓ あわれ 思ひ出 ↓ 思い出 言ふ ↓ 言う
- ② 「ゐ・ゑ・を」 ↓ 「い・え・お」  
**例** ゐなか ↓ いなか こゑ ↓ こえ をとこ ↓ おとこ
- ③ 「ぢ・づ」 ↓ 「じ・ず」  
**例** ふぢの花 ↓ ふじのはな はづかし ↓ はずかし
- ④ 「くわ」 ↓ 「か」、「ぐわ」 ↓ 「が」  
**例** くわし ↓ かし さんぐわつ ↓ さんがつ
- ⑤ 「あ」 ↓ 「お」  
**例** まうす ↓ もうす やうす ↓ ようす
- ⑥ 「い」 ↓ 「you」  
**例** あやしう ↓ あやしゅう りうぐう ↓ りゅうぐう
- ⑦ 「eu」 ↓ 「you」  
**例** けふ ↓ きょう てふ ↓ ちょう

2 古語の知識

古語には、現代語にない言葉もありますが、現代語と同じ音で意味の異なる言葉もあります。代表的なものを挙げておきましょう。

A 現代語にない古語

- げに || ほんとうに。全く。 まめやか || 実用的な。
- つきづきし || ふさわしい。似合う。 つと || じつと。急に。
- ひねもす || 一日中。 夜もすがら・夜すがら || 一晩中。

B 現代語とは意味の異なる古語

あらまほし || そうありがたい。理想的だ。 らうたし || かわいい。  
 わりなし || 理屈に合わない。やむをえない。  
 あたらし || 惜しい。残念だ。 ありがたし || めったにない。  
 いろ || 美しさ。風情。 かしこし || 高貴だ。おそれ多い。  
 おどろく || 目を覚ます。気がつく。 かなし || いとしい。愛らしい。  
 あはれ || しみじみと興が深い。 をかし || おもしろく、興が深い。  
 すさまじ || 興ざめた。 そこら || たくさん。とても。  
 としごろ || 長年の間。 なかなか || かえって。むしろ。  
 ながめ || ほんやり眺めて物思いにふけること。

3 古典文法

1 係り結びの法則

文中に「ぞ・なむ・や・か・こそ」がある場合、文末が終止形以外の形をとります。

ぞ	なむ	連体形(ウ段という形をとる)	強調
や	か		
こそ		已然形(エ段という形をとる)	強調

2 「の」の訳し方

① 主語を表す: 「の」を「が」に置き換えて訳す。

**例** 雪の( || が)いみじう降りたる朝。

② 連体修飾を表す: 「の」のままで訳す。

**例** 同じところの人。

③ 体言の代用: 「の」を「こと・もの」に置き換えて訳す。

**例** 古の( || のもの)は、あはれなること多かり。